

平成24年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	10. ミレニアムセンター佐倉管理運営事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	12. 防災対策費	担当所属	ミレニアムセンター佐倉

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	0
経常	単独		42,113	1,701	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
						平成28年度	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	419	43,814
本年度当初査定額		

財源内訳	使用料及び手数料						一般財源
本年度当初要求額	419						43,395
本年度当初査定額							

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 市民の防災意識の啓発や、非常時における生命保持・救護の確保と、駅前という利便性を活かし、市民生活に密着した行政サービスの提供等ができる施設づくりを基本として、防災訓練施設と小ホールや会議室、風呂等のコミュニティ施設、消費生活センター等、行政サービスを提供するサービスセンターの管理・運営を行う。</p>	<p>(事業の目的) 都市化や高齢化、高度情報化、国際化等が進展していく中で、潤いのあるまちづくりが求められている現在、駅前の利便性を考慮した施設整備、また、大震災の発生時、市民が安心して生活することも緊急課題となっている。以上の状況から、市民の安全の確保と駅前の利便性を活かした行政サービスの提供、子供から高齢者まで幅広く利用できる施設を維持管理し、防災都市づくりの一環とする。</p>	<p>(事業の効果) 当施設は、本市の中心的な防災啓発施設として、訓練や体験を通し防災意識の啓発を図る施設とし、また、コミュニティ施設や市民サービスセンターは、駅前という交通の利便性を活かし、市民が気軽に利用でき、くつろぎやゆとりを感じる空間とする。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 縮小予算により、市民サービスの提供に影響が出る可能性がある。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
08	30	30	0
11	21,157	21,904	△747
12	1,431	1,419	12
13	21,013	18,553	2,460
14	183	183	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	13	01	01	01	08	00	ミレニアムセンター佐倉占用使用料	419		418	1
差引一般財源								43,395		41,695	1,700